

若寺族婦人研修会

2018(平成30)年9月10日(月)
研修会:本願寺山陰教堂教化センター
交流会:堀川遊覧船観光

※記事は3ページに掲載



第 21 号

山陰教区
寺族婦人会連盟

題字：鷺谷良子

委員長あいさつ

山陰教区寺族婦人会連盟委員長 **福井春美** (川本組福常坊)



福常坊本堂

今年度より委員長を務めさせていただきます。五十年という大きな節目の時期での大役に、身の引きしまる思いであります。

さて、今回のこのご縁で私は、教区内のいろいろな地域の方と交流する機会がありました。それぞれの地域によって、また、それぞれの寺院によっても、置かれている環境が違い、行われている活動や受け継がれてきたものも様々です。今までさほど組外の方と交流する機会がなかった私にとって、新鮮でとても勉強になることでした。また、先の若寺族婦人研修会では、講義、昼食を挟んだのアトラクションという内容で、わずか半日ではありましたが楽しく研修、交流させていただきました。元氣をもらったように思います。寺族婦人どうしが繋がりを深め、その中で、気軽にそれぞれの寺院の様子や悩みなども話せるようになるように、大きな支え、悩みの解消にもつながることを思います。その交流の場、情報

今年度より委員長を務めさせていただきます。五十年という大きな節目の時期での大役に、身の引きしまる思いであります。

さて、今回のこのご縁で私は、教区内のいろいろな地域の方と交流する機会がありました。それぞれの地域によって、また、それぞれの寺院によっても、置かれている環境が違い、行われている活動や受け継がれてきたものも様々です。今までさほど組外の方と交流する機会がなかった私にとって、新鮮でとても勉強になることでした。また、先の若寺族婦人研修会では、講義、昼食を挟んだのアトラクションという内容で、わずか半日ではありましたが楽しく研修、交流させていただきました。元氣をもらったように思います。寺族婦人どうしが繋がりを深め、その中で、気軽にそれぞれの寺院の様子や悩みなども話せるようになるように、大きな支え、悩みの解消にもつながることを思います。その交流の場、情報

発信の場としてもこの会が機能していけたらと願っています。

ところで、私の住んでいる地域も、近年少子高齢化が加速度的に進んでいます。ご法義な地域ですが、核家族化の進む中、若い人へのお念仏の伝わりにくさを感じております。普段の生活において、地域の行事への参加や地域の方を招いてのおしゃべり会などを通じて、地域の方との繋がりを大切にすることで、少しでも気軽に寺に足を運んでもらえたらと思っています。年六回の法座では、案内状の配布や送迎を行ったりしていますが、法座へのお参りは減る一方です。そこで、ご夫婦揃ってのお参りを呼びかけていますが、なかなか応えてはもらえません。門徒数にとっても少なく、地域に支えられている自坊にとっては、将来への不安は大きく、その中でも、なんとかお念仏を伝えていきたいと頑張っているところです。このような問題は、大なり小なり各寺院でも感じておられる問題ではないでしょうか。

私たちが繋がりが合うことで何か改善のヒントや元氣をもらうことができれば、この会の意義があるかと思えます。この会が寺族婦人の研修、懇親の場としてさらなる発展をしていくよう、微力ながら、力を尽くしていきたいと思っています。どうかよろしくお願いいたします。 合掌

副委員長あいさつ

山陰教区寺族婦人会連盟副委員長

辛川 昭子 (鳥取因幡組正覺寺)



正覺寺本堂

二〇一八年四月より三年間、山陰教区寺族婦人会連盟副委員長を務めさせていただくことになりました。任の重さを憶えますが、有り難いご縁と、思いを新たにしております。

私の所属します鳥取因幡組寺族婦人会は、現在十七ヶ寺で構成され、歴代会長様のご尽力により、幅広いテーマの研修会・団体参拝などを通して坊守同志の交流・学びを深めています。

鳥取因幡組の中でも、鳥取市南部の山あい用瀬町(もちがせちよう)

に正覺寺は位置します。用瀬町用瀬は、かつて栄えた宿場町で、『流しびなの里』として

も知られています。毎年旧暦の三月三日に、清流千代川(せんだいがわ)で、伝統の雛流しが行われ、早春を彩る華やかな一日となります。

町なか、徒歩数分の範囲に、日蓮宗・浄土宗・浄土真宗の三ヶ寺があり、お寺が地域に密着した土地柄でもあります。それぞれの宗風が(当山では、ご門徒のつながりとお力で)永く受け継がれています。

しかしながら、過疎化・高齢化が進み、一人暮らしの方が増えている実情もあります。年度初めの各組代表者会に出席し、山陰教区内でもやはり同様の現状に多く置かれていることを再認識いたしました。お寺が身近にあり、お念仏が相続されますよう、これからの寺院のあり方・坊守としての歩み方を考え、実践していくことが何よりの課題であると感じております。

この度のご縁による出遇いを大切に、ともにお育てを頂きたいと存じます。

皆さま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。 合掌

副委員長あいさつ

山陰教区寺族婦人会連盟副委員長

河野 宜子 (三隅組西方寺)



お寺レストランの料理(上)メニュー(下)

南无阿彌陀佛 お寺の報恩講を終えるともう師走。坊守様方におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。この四月から寺族婦人会連盟の副委員長をさせていただきます。これもご縁、どうぞよろしくお願ひ致します。挨拶のために充分すぎる紙面を頂きましたので、私が住まいさせて頂いておりますお寺の紹介をします。日課として毎朝(三六五日)五時半からのお朝事で始まり、夕方五時過ぎからお夕事、夜は就寝前のお礼で一日が終了します。年間を通しては、法座が八回、子ども会が三回、仏教主催のお磨き、お寺レストラン、ご門徒の方々による夏・秋の草刈奉仕などがあります。数年前から海外の念仏者の「お寺の生活体験」を受け入れたり、龍谷大学の「お寺de農業インターンシップ」では、昨年今年と計三名の学生さんが来寺してくれました。そんな生活の中で、先日禅を学

ぶために来日していたアメリカ人青年と過した三日間が心に残っていますので、聞いて下さい。お互い片言の日本語と英単語の会話の中で、彼は「禅と浄土真宗の違いは何か」と質問しています。住職や私が時間や場所に関係なく称えるお念仏を聞いて、「ナンマンガブって何だろう」と思ったらしいのです。子ども会でも「ナンマンガブって何？」と尋ねる子どもがいます。その時住職は、「犬はワンワン、猫はニャーニャー、人間はナンマンガブツと鳴くんだよ」と答えると、「フーン、そうか」と嬉しそうにナンマンガブと口にしていきます。私たちのこの問いは、お念仏を聞いたからこそ出てきた問いではないでしょうか。なかなかお念仏が伝わらない、と言う前にお念仏称えてみましよう。それがスタートです。「南无阿彌陀佛はまず称えること、そうであれば何も伝わらない」ということを、色々なご縁が私に教えて下さっていたのです。これからは皆様と共に、坊守の歩みをさせて頂きたい、ご指導下さいますよう、重ねてお願ひ申し上げます。

合掌

二〇一八(平成三十)年度若寺族婦人研修会

九月十日、本願寺山陰教堂教化センターにて、若寺族婦人研修会を開催しました。

実践運動総合基本計画・重点プロジェクトに基づき、ご親教『念仏者の生き方』のお心をいただき、具体的な平和貢献策として取り組む、宗門重点プロジェクトの実践目標『貧困の克服に向けて～Dana for World Peace～』子どもたちを育むために『』について学ぶため、現場でご活動している方のお話を聞く研修会といたしました。

ご講師としてお招きしたのは、比良静代先生(出雲市比良助産院/日本助産評価機構アドバンス助産師)です。比良先生は、「しんぐるまざあず・ふおーらむ出雲」で、相談員・助産師として、ひとり親家庭への支援活動を続けておられます。ひとり親家庭の背景と現状、支援についてお話しをいただきました。

「しんぐるまざあず・ふおーらむ出雲」では、ひとり親家庭の支援活動として、交流会・相談会、アロママッサージ、ヨガ体験、親子クッキング、サックスコンサート、デイキャンプなどの企画を開催しております。

比良先生が相談者の立場として気をつけておられることについてお教えいただきました。「母親のような包み込む姿勢で」「自分の価値観を押し付

けない」「(相手に対して)気にかけていることを発信する」「一人ではない」というサインが伝わるようにする」「子どもの成長と一緒に喜ぶ」などを気をつけておられるそうです。

また、子どもたちには生きる力をつけてもらいたい。お母さんに「孤立感」ではなく、「心地よい仲間空間」「前を向く姿勢」を提供したいという思いをお聞かせいただきました。SNS(メールやLINEなど)での相談の場を作ったり、制度を知ってもらう工夫もしていく必要もあるとのこと。

支援には、専門職や多くの機関の連携が必要です。そしてさらに、地域のつながりも必要です。

比良先生は、「おてらおやつクラブ」という活動への支援・協力をしておられます。「おてらおやつクラブ」は、奈良県にある非営利法人が行っている活動で、お寺にお供えされるお菓子などを、仏さまからのおさがりとして頂戴し、子どもをサポートする支援団体の協力のもと、経済的に困難な状況にあるご家庭へ「おすそわけ」する活動です。全国から様々な宗派の寺院・僧侶が活動に賛同しています(おてらおやつクラブは二〇一八年度グッドデザイン大賞を受賞)。

今回の研修会には、数年前からこの

活動に取り組んでおられるお寺の坊守さんもお参加くださいました。その坊守さんは、数年前から県外の支援団体などにお菓子などを送っておられましたが、昨年、「しんぐるまざあず・ふおーらむ出雲」へ送られるようになりました。比良先生と実際にお会いするのはこの日が初めてということでした。いろいろとお話をさせていただきました。

お菓子などを送る時に、ひとことメッセージを坊守さんが書かれるそうです。比良先生は、毎月の会でそのメッセージを保護者の方の前で必ず読んでおられるとのこと。保護者の方からは、「支えられている」「ことを実感し、あたたかい気持ちになる」という声が出るそうです。坊守さんは、そのお話しを聞きとても嬉しかったと仰っておられました。

今年度より制定された宗門重点プロジェクトの実践目標については、まずは学ぶ機会を作り、知識を得ることが大切、と考えておられる方も多く、今回の講義はその一助となったのではないのでしょうか。

お昼休憩には、参加者同士の交流を深めるため、今年度担当組、松江組寺族婦人の皆さまの進行で、「他己紹介」の時間を設けました。用意された他己紹介シートに事前に自分のプロフィールを書き、それを別の方が紹介するというものです。和やかな雰囲気の中で、参加者同士の距離が縮まった時間でした。

午後からはアトラクション。松江城の堀川遊覧船観光です。心配していた雨も午後にはやみ、およそ一時間の堀川めぐり。船頭さんの軽妙なトークを聞きながら、遊覧船に揺られて松江城の城下町を堀川からご覧いただきました。

研修会は十九人、アトラクションは十二人のご参加でした。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

しんぐるまざあずの活動について

講義会や勉強会も開催!!

他己紹介

お名前(フリガナ)
お住まい*お寺(組名もね)
お住まい(千支でも可)
好きなこと(もの)
得意なこと(もの)
その他、興味など

新役員名簿

任期：2018年4月1日～2021年3月31日

連盟役員(委員)

Table with 4 columns: ブロック, 組名, 氏名, 所属寺. Lists members across various blocks like 鳥取, 出雲, 石東, 邑智, 石西.

連盟役員

Table with 4 columns: 役職, 組名, 氏名, 所属寺. Lists executive roles like 委員長, 副委員長, 常任委員, 監査.

二〇一八(平成三十)年度 山陰教区若寺族婦人研修会アンケート(抜粋)

- 一、研修会の開催時期はいかがでしたか?
二、本日の研修会について内容はいかがでしたか?
三、今後の研修会のテーマについてご希望などございましたらご記入ください
四、この度の講師のお話はいかがでしたか?
五、その他、お気づきのことがございましたらご記入ください。

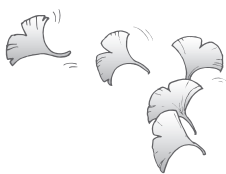
二〇一八(平成三十)年度 寺族婦人研修会について

「平成三十年七月豪雨」の影響により、七月十一日に開催を予定しておりましたが、「二〇一八(平成三十)年度寺族婦人研修会」を延期とさせていただきます。

改めて別日程にて、次の通り開催を予定しております。開催日が近づきましたら、会員の皆様にて案内いたします。

- 一、日時 二〇一九(平成三十一)年 三月五日(火) 午前十時半より午後二時まで(予定)
二、会場 本願寺山陰教室(予定)

当初予定しておりました通り、「宗門重点プロジェクトの実践目標を取り組むにあたって、『貧困問題』について学ぶ」をテーマとし、浄土真宗本願寺派総合研究所のご講師よりお話しをいただく予定です。



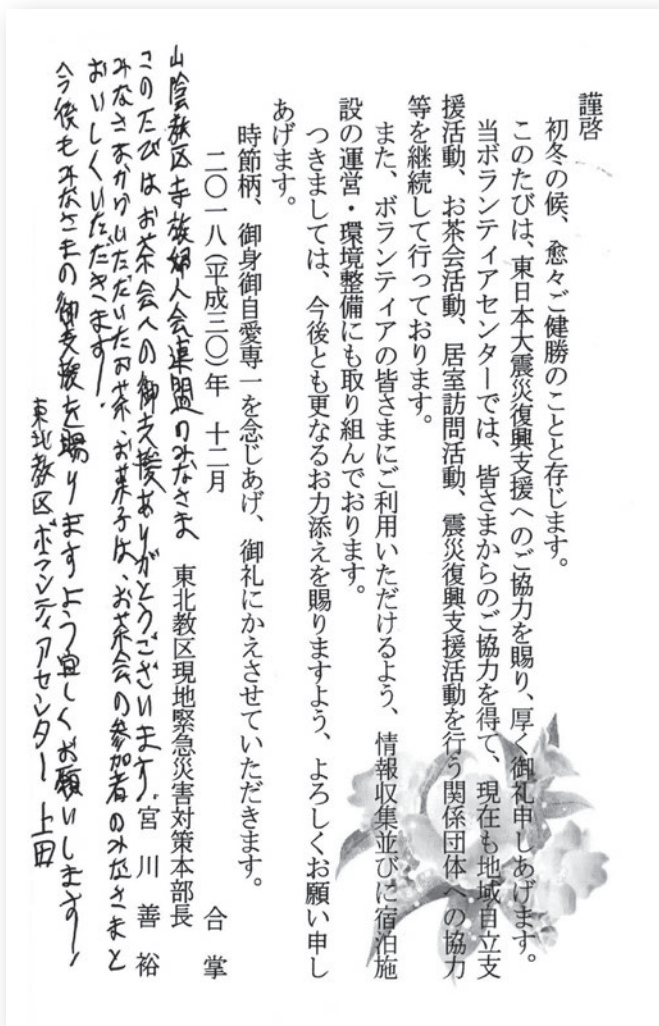
「島根県西部地震」「平成30年7月豪雨」で 被災された皆さまに衷心よりお見舞い申し上げます。

見舞金として当連盟より「島根県西部地震」に1万円を、「平成30年7月豪雨」に1万円を、それぞれ山陰教区を通して被害に遭われた組へ送金させていただきますことご報告させていただきます。

若寺族婦人研修会でのダーナ献金について

平成30年9月10日開催の若寺族婦人研修会でお預かりしたダーナ献金は、総額18,310円でした。多くの災害が発生している中ではありましたが、ダーナ献金は「平成30年7月豪雨」への送金、並びに東北ボランティアセンターのお茶会支援に使わせていただくこととなりました。

東北ボランティアセンターからの礼状



東北ボランティアセンターお茶会支援

<若寺族婦人研修会でのダーナ献金>

研修会担当の松江組の皆さまにお選びいただきました。東北ボランティアセンターのお茶会にてお使いいただきます。

<平成30年11月26日送付内容>

品名	個数
仁多米かりんとう(きな粉味、海老味、黒糖味)	3
清水羊羹	1
わかめナッツ	1
どじょう掬い饅頭(苺、こしあん、国宝松江城、小町など)	6
へるんの羊羹	1
のどぐろせんべい	1
焼蟹せんべい	1
そばの実せんべい	1
吉田君クランチ	1
鬼太郎ワールド	1
生姜湯	1
煎茶(不昧公)	1
煎茶(松江城)	1

総額 20,450円(送料含む)
※不足分は予備費から支出



2017(平成29)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 一般会計 歳計決算

歳入の部

款 項	費 目	決算額	予算額	対比△減	説 明
1	会費	483,000	490,500	△ 7,500	
1	1 本年度	483,000	490,500	△ 7,500	1,500円×322単位分
2	2 過年度	0	0	0	
2	1 助成金	200,000	200,000	0	教区助成金
3	1 回金	0	0	0	
4	1 参加費	583,000	810,000	△ 227,000	若寺婦・寺婦研修会 参加費
5	1 雑収入	82,846	3,752	79,094	若寺婦・寺婦研修会 ターナ献金
6	1 前年度繰越金	345,748	345,748	0	
	合計	1,694,594	1,850,000	△ 155,406	

歳出の部

款 項	費 目	決算額	予算額	対比※超過	説 明
1	1 研修費	863,463	1,100,000	236,537	若寺婦・寺婦研修会
2	1 会議費	306,016	340,000	33,984	各組代表者会、常任・編集委員会等
3	1 事務通信費	73,762	100,000	26,238	郵券料・封筒調製
4	1 教化費	84,240	95,000	10,760	寺婦のひろば調製
5	1 回金	50,000	50,000	0	特別会計への回金
6	1 諸費	0	30,000	30,000	
7	1 予備費	85,051	135,000	49,949	九州・鳥取・熊本：各20,000円、東北25,051円
	合計	1,462,532	1,850,000	387,468	

歳 入	1,694,594
歳 出	1,462,532
差引残額	232,062

2018(平成30)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 一般会計 歳計予算

歳入の部

款 項	費 目	30年度予算	29年度予算	対比△減	説 明
1	会費	483,000	490,500	△ 7,500	
1	1 本年度	483,000	490,500	△ 7,500	1,500円×322単位分
2	2 過年度	0	0	0	
2	1 助成金	200,000	200,000	0	教区助成金
3	1 回金	0	0	0	特別会計より回金
4	1 参加費	180,000	810,000	△ 630,000	研修会参加費
5	1 雑収入	4,938	3,752	1,186	預金利息等
6	1 前年度繰越金	232,062	345,748	△ 113,686	
	合計	1,100,000	1,850,000	△ 750,000	

歳出の部

款 項	費 目	30年度予算	29年度予算	対比△減	説 明
1	1 研修費	400,000	1,100,000	△ 700,000	寺婦・若寺婦研修会
2	1 会議費	340,000	340,000	0	代表者会、常任・編集委員会等
3	1 事務通信費	100,000	100,000	0	郵券料・事務消耗品
4	1 教化費	90,000	95,000	△ 5,000	寺婦のひろば
5	1 回金	50,000	50,000	0	特別会計への回金
6	1 諸費	30,000	30,000	0	慶弔等
7	1 予備費	90,000	135,000	△ 45,000	
	合計	1,100,000	1,850,000	△ 750,000	

2017(平成29)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 特別会計 歳計決算

歳入の部

款	費 目	決算額	予算額	対比△減	説 明
1	前年度繰越金	452,163	452,163	0	前年度繰越金
2	回金	50,000	50,000	0	一般会計からの回金
3	雑収入	0	837	△ 837	
	合計	502,163	503,000	△ 837	

歳出の部

款	費 目	決算額	予算額	対比※超過	説 明
1	翌年度繰越見込金	502,163	503,000	837	翌年度繰越金
2	回金	0	0	0	
	合計	502,163	503,000	837	

※差引残高 502,163 円を翌年度繰越金として翌年度へ繰越しました。

2018(平成30)年度 山陰教区寺族婦人会連盟 特別会計 歳計予算

歳入の部

款	費 目	30年度予算	29年度予算	対比△減	説 明
1	前年度繰越金	502,163	452,163	50,000	前年度繰越金
2	回金	50,000	50,000	0	一般会計からの回金
3	雑収入	837	837	0	預金利息等
	合計	553,000	503,000	50,000	

歳出の部

款	費 目	30年度予算	29年度予算	対比△減	説 明
1	翌年度繰越見込金	553,000	503,000	50,000	翌年度繰越見込金
2	回金	0	0	0	
	合計	553,000	503,000	50,000	

編集後記

「寺婦のひろば」第二十一号をお届けいたします。記事・紙面にご意見をいただければ嬉しく思います。

さて、二〇一八年は地震、豪雨、豪雪、台風など、例年になく多くの自然災害に見舞われた一年となりました。山陰教区におきましても、四月九日に発生した島根県西部地震では、多くのご寺院や門信徒の皆さまが大変な思いをされました。平成三十年七月豪雨では、江の川沿岸部を中心にご寺院や門信徒の皆さまのご自宅が浸水被害に遭われました。

被災された皆さまに衷心よりお見舞いを申しあげますとともに、一日でも早く復興されることを願っています。

災害の復興には長い時間がかかることもあります。まずはできることから、少しずつでも支援を続けていきたいと思えます。

末筆ながら、ご寄稿いただいた皆さま、ご協力いただいた皆さまに心より御礼申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。